

富士通エフ・アイ・ピー
会社案内

FUJITSU

Challenge & Sustainability

富士通エフ・アイ・ピー株式会社

<https://www.fujitsu.com/jp/fip/>



本会社案内に記載の内容は2020年4月現在のものです。内容は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

A01_11

shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために



トップメッセージ

お客様のデジタル革新を支える 「ソリューション&サービスカンパニー」へ

今日、デジタル技術が著しい成長を遂げ、大きな変革の波が押し寄せてきています。最新のICT技術は画期的なビジネスを創造し、人々の生活はより豊かになり、快適な社会が実現しつつあります。

富士通エフ・アイ・ピーは、長年にわたる数多くのお客様へのサービス提供により、専門性の高い業種・業務ノウハウを培ってきました。このノウハウと最新技術を活用し、お客様のニーズにマッチした最適なデジタルサービスを提供していきます。さらに、クラウド時代にあったサービスの拡充に努めるとともに、富士通グループの一員として幅広いチャネルも活用し、ビジネスを展開してまいります。

また当社は、お客様に安心して、より価値の高いサービスを利用いただくためには、「品質」と「技術」が特に重要であると考えています。全社を挙げた品質の向上活動に取り組むとともに、技術教育や資格取得などを通じた技術力の向上も推進してまいります。これらの活動には、従業員が安心して働ける環境づくりが欠かせません。誰もがやりがいを持ち、自らの力を最大限に発揮できるよう、働き方改革にも注力していきます。

今後、「お客様との共創」をより一層進めるとともに、お客様のビジネス拡大のために価値ある提案を積極的に実施し、新たなビジネスの創出にも取り組んでまいります。これらの取り組みによって、当社のサービスを活用されるお客様を通じて、社会の発展に貢献する企業を目指します。

これからもより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

貴田 武実



これまでの歩み

わが国初の電算センターを継承してスタートした当社は、受託計算、ソフトウェア開発などから、システムインテグレーション、ITアウトソーシング、SaaS、クラウドへと事業を拡大。現在では、システムインテグレーションとSaaSの2つを核とし、富士通と連携しながら、最新技術も活用し、お客様のビジネス拡大を支えています。

1963 ○ ファコム株式会社設立

前身の有隣電機精機(株)が運営していたわが国初の電算センターを継承し、富士通(株)のコンピュータを扱う専門企業として産声をあげる。



1966 ○ 富士通ファコム株式会社へ改称

1972 ○ 商用TSS* サービスの提供開始

※多数の端末機が1台のホストコンピュータを同時に利用する計算処理システム

1977 ● 富士通株式会社の全額出資により株式会社エフ・アイ・ピー*設立

※「エフ・アイ・ピー」は、FACOM INFORMATION PROCESSINGに由来する



1980 ● 現社名の富士通エフ・アイ・ピー株式会社へ改称

1982 ● VAN*サービスの提供開始

※Value Added Network：通信内容をそのまま伝送するのではなく、通信内容に処理加工を行って伝送する通信網のこと



1988 ● システムインテグレーション事業への進出

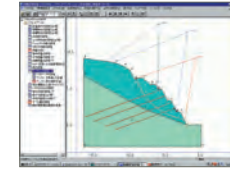


1989 ● アウトソーシングサービスの開始

川崎市に第1号のデータセンターとなる東京第一センター(第一ビル)を開設し、日本で草分けとなるITアウトソーシングサービスを開始。その後、全国主要都市16か所にデータセンターを展開。



1994 ● 土木設計計算システム「FCENA」シリーズ(斜面安定計算システム「COSTANA」)の販売開始



1996 ● 医薬品安全性情報管理システム「パースヴ」シリーズの販売開始



1998 ● インターネットによる企業間EC/EDIサービス「TradeFront」の提供開始



1999 ● 環境パフォーマンスデータ記録管理システム「SLIMOFFICE」(現SaaS型環境経営情報サービス「Eco Track」)の販売開始

2000 ● 廃棄物情報管理システム「CLENALIFE」シリーズの販売開始

2001 ● 医薬品製造販売後調査データ収集システム「PostMaNet」の販売開始

2005 ● 上下水道料金管理システム「AQUASTAFF」の販売開始

2006 ● ギフトカードASPサービスの提供開始

2009 ● SaaS型ポイントサービスの販売開始

2010 ● 横浜データセンター開設

クラウド化の進展の中、最新の省エネ設備と高度なセキュリティ設備を備えた国内16拠点目となるデータセンターを開設。

2012 ● 暗号化ファイル伝送ツール「Confidential Posting」の提供開始



2015 ● データセンターサービス事業の強化を目指し、富士通株式会社と組織統合・再編

当社と富士通(株)がそれぞれ展開していたデータセンター事業を統合。これを機に、データセンター運用などのサービス機能を一手に担い、富士通グループでサービスビジネスを牽引する役割が一層鮮明に。

2016 ● ID-POS分析サービス「ValueFront Analytics」の提供開始

2017 ● 創立40周年

2018 ● PCI DSSセキュリティコントロールサービスの提供開始

2019 ● LGWAN-ASP/アプリケーションゲートウェイサービスの提供開始

データセンターサービス事業の一層の強化を目指し、富士通株式会社に統合
2015年の組織統合・再編以降、機能分化してサービス提供していたデータセンター事業を富士通(株)に統合。システムインテグレーション、SaaSの2つのサービスを核とし、富士通グループとの連携を強化して多様なサービスを提供。

1960

1970

1980

1990

2000

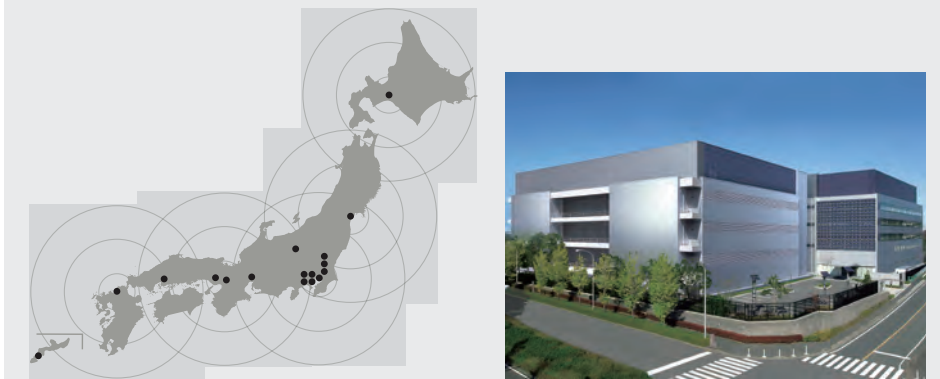
2010

事業内容

長年のデータセンター運用をはじめとするサービス提供で培った技術、業種・業務ノウハウ、最先端技術を組み合わせ、デジタルサービスを展開。
お客様のデジタル革新を支援します。

当社は長年にわたり、富士通とともに、全国に展開した安全性の高いデータセンターで、お客様の大切なデジタル資産を守り、運用してきました。数多くのお客様へのサービス提供で培った技術と、業種・業務ノウハウ、最先端技術を融合し、「システムインテグレーション」と「SaaS」の2つのサービスを核とし、「ITアウトソーシング&クラウドサービス」も組み合わせ、お客様に安心・安全で、高品質かつ高コストパフォーマンスなデジタルサービスを提供しています。これらのサービスを通じて、お客様のデジタル革新を支援していきます。

富士通のデータセンターは、各種安全対策基準や独自の強化基準をクリアすることにより、ハイレベルなセキュリティ環境を実現しています。お客様のシステムをあらゆる脅威からお守りし、企業経営や社会生活を支援しています。



システムインテグレーション サービス

豊富なノウハウと最新の開発技術を組み合わせ、お客様の視点に立ちソリューションを提供。

豊富な業種・業務ノウハウと、最先端のICTをはじめとする高度な開発技術を持ったシステムエンジニアが、常にお客様の視点に立ち、お客様と一体となったシステム構築を行っています。官庁・自治体をはじめ製薬、ヘルスケア、流通など、幅広い分野のお客様にソリューションを提供し、人々の安心・快適で豊かな暮らしを支えています。

SaaSサービス

様々な分野のサービスを提供し、お客様ビジネスの利便性向上を支援。

当社が長年培ってきた、アウトソーシングやソリューションなどのノウハウを融合して、様々なサービスを開発し、万全な導入、運用サポートのもと、お客様にネットワーク経由で提供しています。お客様が求める幅広いニーズにお応えし、流通、製薬、ヘルスケア、官庁・自治体、セキュリティなどの様々な分野の業務において、利便性向上やお客様のビジネスの拡大を支援しています。

ITアウトソーシング& クラウドサービス

24時間365日安定した運用をサポート。データセンターとクラウドの連携で最適な環境を実現。

富士通が、全国に展開する高水準の安全対策・セキュリティ対策を施したデータセンターと、ITIL®に準拠した最新のサービスマネジメントをベースに、最高の技術と万全の体制でお客様システムをお預かりし、安定した運用を提供しています。さらに、ネットワークで提供されたデータセンターの各種サービスと、様々なクラウドサービスをハイブリッドに組み合わせ、お客様の幅広いご要望にお応えし、最適なクラウド環境を提供します。

データセンター

社会を支えるソリューション

富士通エフ・アイ・ピーのソリューションは、人々の安心・快適・豊かな暮らしを支えるため、様々なシーンで活躍しています。



環境

届出事業者管理やごみ収集管理などの自治体の環境行政と、環境データの収集・管理などの企業の環境経営を支援し、環境負荷軽減に貢献します。



製薬

医薬品の安全性情報の管理や製造販売後調査の進捗管理やデータ収集を支援し、安心・安全な医療の実現に貢献します。



石油

石油元売会社の基幹システムや、サービスステーション向けリテールシステム・コールセンターを提供し、社会インフラ基盤を支えています。



ヘルスケア

医療事務の効率化やカルテの電子化、地域医療の推進などを通じて病院経営を支え、医療の質の向上に貢献します。



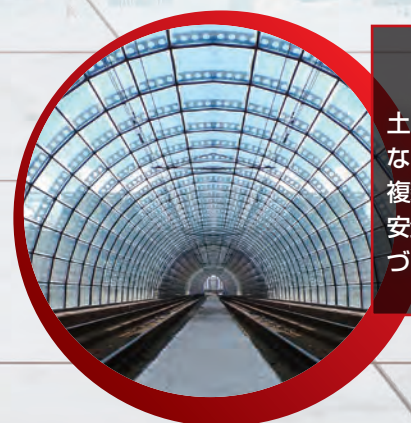
金融

システムの基盤から、基幹系・決済系などの各種システムの構築・運用を通じ、システムの信頼性向上と業務運用の負担軽減を支援します。



セキュリティ

各種認証取得や準拠支援、内外脅威への対策、ファイルの暗号化や伝送による情報流出対策など、セキュアなシステム環境を支えます。



土木・建築

土木構造物や木造建築物などに求められる高度で複雑な設計計算を支援し、安全で快適な社会インフラづくりに貢献します。



自治体

ICT基盤のクラウド型共同利用や福祉・水道をはじめとした各種業務の効率化などを通じ、地域社会の発展や市民サービスの向上に貢献します。



百貨店・卸・小売

流通BMSなどによる受発注効率化や、電子マネーやポイントサービスによる利便性向上、マーケティング支援により、売上拡大に貢献しています。



ソリューション&サービス
トップページ

<https://www.fujitsu.com/jp/group/fip/services/>

CSR活動

お客様に安心して製品・サービスをご利用いただくため、そして、社会の持続的な発展のため、様々な活動に取り組んでいます。

事業継続活動

BCP対策訓練

不測の事態発生時においても重要な事業を継続し、社会的責任を遂行するとともに、高性能・高品質な製品・サービスの安定的供給を実現するため、事業継続計画(BCP)の継続的な見直しと改善を行っています。



対策本部訓練

情報セキュリティ対策

安全なサービスの提供とサイバー攻撃対策

お客様に安全なサービスを提供するため、定期セキュリティ検証制度を設け、当社製品・サービスの定期点検を実施しています。また、急増するサイバー攻撃に備え、実際の攻撃事例に基づいた教育や訓練、啓発活動を全社に対し行っています。



セキュリティ推進会議

ワークスタイル変革

全社一丸となった改革への取り組み

2017年3月に「富士通エフ・アイ・ピー ワークスタイル変革宣言」を発表し、経営トップのリードのもと、全社一丸となってワークスタイル変革に取り組んでいます。また、テレワーク勤務制度を導入し、社員のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方を推進しています。



「富士通エフ・アイ・ピー ワークスタイル変革宣言」宣言文

ダイバーシティ推進

障がい者雇用、女性活躍推進

共同農園の一区画を借り受けて農園就労を行うなど、障がい者雇用に積極的に取り組んでいます。また、女性社員の一層の活躍に向け、役員による女性社員向けの講話や、役員と女性社員との座談会、女性社員同士の意見交換会などを実施しています。



役員と女性社員との座談会

社会貢献活動

地域ボランティア

全国各拠点の従業員が、事業所周辺、公園、河川などにおいて清掃や美化などのボランティア活動に積極的に参加し、地域の方々とともに社会貢献を推進しています。



清掃ボランティア

環境問題への取り組み

森林再生支援

2010年7月より神奈川県森林再生パートナーとなり、丹沢大山地区の約9ヘクタールを「富士通エフ・アイ・ピーの森」と命名しました。春と秋の年2回、社員による間伐などのボランティア活動を継続的に行い、森林再生を支援しています。



富士通エフ・アイ・ピーの森 ボランティア活動

健康経営

健康経営優良法人に認定

「社員一人ひとりがいきいきと働くことのできる企業づくり」を推進するため「富士通エフ・アイ・ピー 健康経営宣言」を制定し、生活習慣病対策や喫煙対策など、様々な施策に取り組んでいます。これらの取り組みが評価され、経済産業省および日本健康会議より、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として「健康経営優良法人」に2018年から3年連続で認定されました。



富士通は東京2020オリンピック・パラリンピックを応援しています。

富士通は国内最高水準のゴールドパートナー(データセンター)として、オリンピック・ムーブメント、パラリンピック・ムーブメント促進に貢献し、データセンターに必要なサーバ、ストレージやサービスを通じて、東京2020大会をサポートしていきます。



富士通エフ・アイ・ピーは
富士通のグループ企業です